

2022年9月8日
2022年秋季大会実行委員会

日本オペレーションズ・リサーチ学会
2022年秋季研究発表会&シンポジウムにおける感染対策について

1. 来場者の感染対策について

来場者の感染対策を、新型コロナウイルスを持ち込ませないための「入場前の感染対策」、来場者間で感染を拡大させないための「会場内の感染対策」、大会終了後に来場者の中から感染者が発生したときの「退場後の感染対策」の3つの視点から検討しました。

1-1. 入場前の感染対策

(1) 来場前

①事前周知

本大会のホームページや、参加者に事前配布するマニュアルにおいて、発熱や体調不良のある方の入場をご遠慮いただくことを明記しました。また、マスク着用・検温・手指消毒は必須であることを周知しました。

②参加費の事前振込制

参加費の支払い方法を事前振込制としました(感染対策のために実施したものではありませんが、来場者と受付係の接触回数の減少、受付時間の短縮、受付での混雑緩和が期待できると考えられます)。

(2) 受付時

①検温

受付時に検温し、37.5℃以上の場合は入場をお断りします。

具体的な検温の手順は、以下のとおりです。

- 1) 受付到着時に検温します。
- 2) 検温の結果、37.5℃以上だった場合は、再検温します。
- 3) 再検温の結果、37.5℃以上の場合は入場をお断りします。

なお、大会1日目に検温した方でも、2日目・3日目も検温します。

②マスクの提供

マスクを忘れた方には、受付でマスクを提供します。

1-2. 会場内の感染対策

(1) 聴講者間

①会場の定員削減

会場の定員を平常時の定員から削減することで、来場者間の距離を広くとります。
なお、すべての会場をオンライン配信しているため、定員により入室できない場合でも視聴が可能です。

②会場の机の消毒

大会期間中、開場前と閉場後に、聴講者の机・椅子をアルコール消毒します。

③マイクの消毒

質疑応答で使用するマイクは、使用のたびにアルコール消毒します。

④会場の換気

外気取込による空調運転を行います。

休憩時間に会場のドアを開放し、換気を行います。

(2) 発表者・聴講者間

①距離の確保

発表者の立ち位置(演台)と、聴講者席の最前列の間に十分な距離を確保します。

②アクリル板の設置

発表者と聴講者の間にアクリル板を設置します。

③発表者のマスク着用

発表者の方には、発表中にマスクを着用して頂きます。

(3) 発表者間

○共同利用する設備の消毒

発表者が共同利用する設備(演台、マウス、ノートパソコン、マイク)を、発表者の入替時にアルコール消毒します。

また、座長が共同利用する設備(机、椅子、マイク)を、座長の入替時にアルコール消毒します。

1-3. 退場後の感染対策

○感染者が発生した場合の対応

受付時にご提供頂く情報等をもとに、滞在したホテルに感染者が発生したことを通知します。

保健所が実施する行動履歴等の調査への協力を要請することがあります。

2. 大会運営上の感染対策について

①余剰人員の確保

体調不良者が発生した場合を想定し、余剰人員として、実行委員2名、アルバイト2名を確保します。

②フェースシールドとマスクの併用

感染リスクの高いと思われる係に関しては、フェースシールドとマスクを併用します。

3. その他

上記の感染対策は、会場である朱鷺メッセのガイドラインを参照して策定しました。

- ・朱鷺メッセ 新型コロナウイルス感染防止対策に伴う施設利用へのご協力のお願い（令和4年7月19日更新）

<https://www.tokimesse.com/sp/topics/detail?id=215>